

大阪市長選挙の立候補予定者が激論する
公開討論会「どうすんねん！大阪」
開催資料

カラ残業、職員厚遇問題などに端を発します大阪市政改革の流れは、11月13日告示・27日投票という突然の市長選挙へと行き着きました。この選挙で大阪がどのように変わるのか・・・、全国目が注がれています。

さて、これからの自治体経営のトップ・マネジャーである首長には、自治体を取り巻く難関を乗り越える熱情あふれるリーダー・シップと市民・納税者起点の経営能力が求められますし、一方の主権者である市民・有権者には、未来を託せる有能な首長を選出する能力が試されています。

しかしながら、首長選挙の投票率は低下の一途をたどっています。その原因の一端は理念や政策を掲げて有権者に判断を仰ぐのではなく、地縁、血縁、組織を当てにした、政策に基づかない選挙をやってきたからです。またそれを当たり前として首長を選んできた市民・有権者の責任も免れません。

そういった没政策型の選挙から脱却し、市民を主体とした政策を基準とする候補者の選択が可能なマニフェスト型選挙を推進しようというローカル・マニフェスト運動が、全国に急速に広がっています。ローカル・マニフェスト(市民への政策提案集)は、自治体経営の理念と、理念に基づく体系化された政策を、市民・有権者にわかりやすく提示し、個別政策の具体的な目標、その達成手段、財源、スケジュールなどを市民・有権者に約束する、事後の検証可能な立候補者と市民・有権者との契約書といわれています。

そこで、本討論会をマニフェスト型の公開討論会とするため、各立候補予定者にマニフェスト・シートの作成をお願いしました。討論では、ご提出いただいたマニフェスト・シートをもとに、各パネリストの政策の違いを際立たせる形で議論を展開したいと思います。また、会場からの質問(提案)票に対する立候補予定者との質問応答も予定しています。

日時：2005年11月10日(木)午後6時30分～9時

会場：大阪市立中央区民センター(大阪市中央区久太郎町1-2-27)

討論会の登壇者(あいうえお順、敬称略)

【パネリスト】 11月9日現在の市長選挙立候補予定者

関 淳一(前大阪市長)

辻 恵(前衆議院議員、弁護士)

姫野 浄(前大阪市議会議員)

【コーディネーター】

今瀬 政司(特定非営利活動法人市民活動情報センター 代表理事)

岡本 仁宏(関西学院大学法学部教授、ローカル・マニフェスト推進ネットワーク関西運営委員)

主催：ローカル・マニフェスト推進ネットワーク関西

特定非営利活動法人市民活動情報センター

特定非営利活動法人NPO政策研究所

社会福祉法人大阪ボランティア協会

後援：ローカル・マニフェスト推進ネットワーク

お問合せ先

特定非営利活動法人市民活動情報センター (SIC)

〒552-0021 大阪市港区築港2丁目8-24 piaNPO 506号室

TEL: 06-4395-1144 FAX: 06-4395-1145 E-mail: sic@mx.mesh.ne.jp

ホームページ: <http://www1m.mesh.ne.jp/~sic/>

討論内容(予定)

1. 主催者からの開会挨拶・趣旨説明

木原勝彬(ローカル・マニフェスト推進ネットワーク関西代表)

登壇者紹介、進行予定・運営ルール説明

2. 大阪市のまちづくりビジョン

質問(提案)票回収

3. 大阪市のまちづくりへの具体的方策

(1) 大阪市役所の違法・不適切行為を持った組織風土改革の具体的方策

(2) 大阪市の行財政改革の具体的方策

(3) 市民が直接に政策形成やまちづくりを担う市民主権型の仕組みづくりの具体的方策

(4) 福祉の充実、経済の活性化、文化振興など夢あるまちづくりの具体的方策

4. 市民からの質問(提案)票による質問応答

5. 各立候補予定者からのメッセージ

6. コーディネーターからの意見

7. 主催者からの閉会挨拶・今後への展望

今瀬 政司(特定非営利活動法人市民活動情報センター 代表理事)

参加者へのお願い

陣営のイメージをアピールするものを持参、着用し入場することを禁止します。

客席からの一切の声援、誹謗、中傷は禁止します。

客席から、直接パネラーに質問することを禁止します。

コーディネーターが促すとき以外の拍手を禁止します。

開催資料一覧

公開討論会の開催概要 各立候補予定者の公開討論会用マニフェスト・シート

質問(提案)票(公開討論会終了後に立候補予定者にお渡します。主催者団体により公開可能な扱いとします。)

アンケート票

主催者団体紹介パンフレット